





流星 第28号(OB 会誌15号)

題字 河村先生(元部長)

イラスト 伊東(s44)

目次

巻頭言	部顧問	平木 教授	2
所感	会長	木村 (s36)	3
新主将挨拶	新主将	轟(2年)	4
新 OB 会連絡員挨拶、部員名簿		丹羽(1年)	4
新入部員挨拶			5
現役 2016 年度活動結果報告、H27 年度自動車部決算報告、OB 会部活動援助費会計報告			6
現役活動報告 1; 2016 年第 54 回 KIT Night ラリー	ラリー委員長	河本(3年)	8
現役活動報告 2; 全日本エコドライブチャンピオンシップ 2016 優勝報告	近藤(2年)、河本		9
現役支援、応援; 同上 観戦記	中京地区副幹事	河野(s49)	12
現役支援活動 1; 現役サポート隊の取組みについて	現役交流担当	山下(h1)	13
現役支援活動 2; 第5回現役 OB 交流会開催		同上	15
OB 会平成 28 年度活動、平成 29 年度活動計画、役員	事務局	中西(s50)	19
OB 会平成 28 年度会計報告、平成 29 年度予算	会計	武地(s51)	22
OB 会平成 28 年度会費、部活動援助費、OB 会カンパ振り込み状況			24
OB 会 会計監査	会計監査	田中(s45)	25
予告 次回 OB 会総会 2017 年 10 月 21 日開催	関西地区幹事	山崎(s49)	25
会員名簿、物故者名簿			26
編集後記			27

決定 次回OB会総会 in 関西
 日時:平成29年10月21日(土)~22日(日)
 場所:KKR琵琶湖ホテル(大津市)

「AIの行く末」

部顧問 平木 教授

今年には人工知能(AI)に関するニュースが特に目立ったように思う。人工知能による囲碁対局ソフト「アルファ碁」が世界最強の棋士に5戦4勝するというニュースに始まり、当たり前のように報じられる自動運転技術の発展には目覚しいものがあるし、もっと身近な自動ブレーキに対する信頼度も格段に高くなっている。その一方で、暴走車による事故発生のニュースも後を絶たない。事故の背景には、ドライバーの高齢化に伴う機能低下や、飲酒・薬類による意識低下があるようだが、運転を人間よりも人工知能にまかせる方が安心な時代がすぐそこに来ている。

私たちが日々使うスマートフォンでも人工知能の秀逸さを感じられる。検索したい言葉を発しさえすれば、かゆいところに手が届くように細やかに対応してくれる。相手が人間だとうはいかない。わかってもらおうといくら必死になっても、ちっとも自分が望む通りにはならない。もどかしいし、腹立たしく感じることもさへある。

私が家でくつろぐときには、アメリカのドラマを見ていることが多い。好んでみるドラマの一つに「パーソン・オブ・インタレスト」というものがある。人工知能がアメリカ中の監視カメラ映像を分析し、凶悪犯罪の発生を予防することが物語のベースになっている。ドラマそのものは過激な暴力シーン満載でお勧めできないが、あってもおかしくないと感じさせるリアリティがそこにある。今年そのドラマが完結してしまったのは残念である。

「技術的特異点(テクノロジカル・シンギュラリティ)」という言葉がある。「人工知能の性能が全人類の知性の総和を超える」ことを意味する。アメリカの人工知能研究者であるレイ・カーツワイルは2045年にその特異点を迎えると予測していたが、それよりもずっと近い2029年に到来するとの予測もある。今や、人工知能が作曲したり、

執筆したり、絵を描くこともできる。人間が実際に作ったものを数多く学習しているので、私達が見たり聞いたりしても、人間が書いたものと区別することすらできないレベルに達している。人間にしかできないことがもはやあるであろうか？

近所にある工業高等専門学校の非常勤講師を勤めているので、教えている制御情報工学科の5年生(大学2年生相当)に「人間は人工知能をどうするべきか」を考える課題を出してみた。賛否両論であったが、「重大な問題は起こらないと思う」という楽観論者が多数派を占めた。人工知能が人間を圧倒する状況を想像しにくいから、と理由を推察するが、現実では多くの分野で人間は人工知能に及ばない。その認識すら持っていない、それこそが「危うさ」なのではないだろうか。

人間が人工知能を上回る点を探すのは難しくなってきたので、人間の悪いところを挙げよう。言うことが首尾一貫せず矛盾だらけなところ、口ばかりで行動しないところ、行動しても最後までやり遂げないところ。と、書いていて自分のことのように思えてきたのでもうやめる。このような人類に対して、人工知能はどのように判断するのだろうか。

過去に絶滅した動物種に共通していることは、「自分が最も得意とすることが仇となって滅亡する」と聞いたことがある。恐竜はその大きさゆえ、氷河期に向かう環境に適応できなかったのだろう。人類の最も得意とするのはその知性。事実、その知性が現在の人口70億人に至る繁栄を支えている。ということは、人類はその知性ゆえに絶滅することになる。ちなみに、前述のドラマの結末は、……。了

「マ グ レ ブ」

自動車部 OB 会会長 木村(s36)

皆さんは「マグレブ」という言葉を聞いたことがありますか。マグレブとは「日の没するところ」、或いは「西方の地」を意味するアラビア語で、一般には「チュニジア」「アルジェリア」「モロッコ」をマグレブ3国と呼んでいます。縁あって、このうちアルジェリアで3年、モロッコで1年間、プラントエンジニアリングの責任者として過ごしました。思い出を記してみたいと思います。

「日いずる所の国」に生まれた我々から見ると、「日没する所の国」とは、いかにも没落しつつある国、といった印象を受けます。しかし、これらの国では、すべてを焼き尽くす、灼熱の太陽は忌むべきもので、月と星の夜こそ、清涼と安らぎをもたらす母なる存在であり、それ故に、これらの国の国旗には、すべて月と星が描かれているのです。国民は、ほとんどがアラブ人でイスラム教徒ですが、少数ながらベルベル人(原始キリスト教徒)もいます。

地中海岸に並行して、東西にアトラス山脈が走り、ハイアトラスでは標高 4,000mに達します。この山脈の南側はサハラ砂漠であり、北側の地中海岸との間が、政治、経済の場として発展してきました。私は、アルジェリアではエルアスナム、モロッコではマラケッシュに滞在しました。気候も夏は最高45度以上、最低20度、雨量はほとんどゼロ、一方冬は結構寒く防寒着が必要です。雨は冬の間以降るので、これを利用して麦を作っていました。

現地での楽しみは何といっても食事です。エルアスナムでは、日本人コックを3名採用し、日本食材を調達するため、女性1名をパリに駐在させました。コックは2-3日おきに、朝5時に起きて200Km離れたオランの魚市場出かけ、地中海でとれたマグロ、イセエビ(1匹3-4Kg) タイ、タコ等を購入しました。また、秋になると、なんと松茸が買えるのです。一度コックに同行し、南に聳えるアトラス山脈に向かって標高 1,000m まで登ると、広場に子供たちが平籠に日本と同じシダを敷いて、その上に松茸を1Kg 乗せて待っていました。値段は1Kg 日本円で1万円、思い切っただけ全部買ったら

70Kg あり、結構な値段になりましたが、それから2-3日は松茸尽くしで堪能したものでした。このきのこが、松茸だと最初に見抜いたのは、ロンドンから遊びに来ていた日本人コックだったそうです。それまでは、ロバの餌にしていたと聞いていましたが、大した金の卵になったものです。

その後、モロッコに行きましたが、松茸にはお目にかかれませんでした。モロッコの松茸は、すべて国王が管理していて、全量日本に輸出しているとのことでした。

アルジェリアでは、自動車は大変な貴重品で、プジョウ504を新車で購入すると 1,200 万円以上かかり、その半分以上は税金です。しかし、激しい暑さのため、エアコンはたちまちパンクし、仕方なくペットボトルの水を飲みながら、ウインドガラスを少し開けて、わずかに熱風を入れながら、スピードを上げて、ひたすら目的地に急ぐこととなります。一般的には、2車線の舗装道路ですが、所々3車線のところがあり、中央の車線は、両方の共通の追い越し車線となっています。アラブ人の運転手は、譲り合うことが苦手なので、双方が100Km/h 以上の速度で接近し、気の弱い方が元の車線に戻る、ということになれば目出度しですが、そうでなければ、原型をとどめぬスクラップが2個出来ることとなります。

言語(仏語)、政治、宗教、習慣の異なる中でさんざん苦勞しながら、所定の業務を達成し、利益も上げて帰国しました。その後、先方から合弁事業の話もありましたが、原理主義の台頭で政情が不安定になり、とても再訪できる状態では無くなりました。

更に、アラブの春の混乱、相次ぐテロ、IS の台頭等、宗教がらみの紛争が続く中で、30年前に共に苦勞したアラブの仲間は如何していることかと思いをはせています。一神教の、厳しい掟と戒律の中で生きる人々に比べ、我々は、「日いずる国」に生まれ、八百万の神々や仏に守られて、太陽の恵みをいっぱいを受けて、平和な人生を歩ませて頂いていることに、あらためて感謝するこの頃です。以上

新主将挨拶

責善会自動車部 第77代主将

靄(2年)

この度、第77代主将を務めさせていただくことになりました、2回生の靄(つる)と申します。主将という大役を任せていただくことになり、大変光栄に思うとともに自動車部に同回生がいないこともあり、とても重圧を感じております。

しかしながら、昨年の全日本エコドライブチャンピオンシップ2016の学生の部優勝をはじめとして現在の自動車部は大きな転換期に入っており、今後の自動車部の発展のためにも日々邁進していかなければいけないと感じ、努力していかなければいけないと感じております。

現在の部員数は新生が多く入部し昨年度より多い状況になっております。そのため、新生

の新しい風が吹き、いい刺激になっています。幼いころに父と一緒に車の整備をしたのがきっかけでこの自動車部に入部しましたが、新生を見ているとその時のことを思い出します。車を運転する楽しさやいじる楽しさを日々感じながら活動していますが、その“車の楽しさ”を伝えていきながら、先輩方が今まで積み重ねてこられた伝統も後輩に伝えていきたいと思っております。

まだまだ未熟者で頼りないですが、現在の部員と共に協力してこれからの部の発展と新しい伝統を作っていこうと思っておりますので、今後とも先輩方のお力添えをよろしく願いいたします。

新OB会連絡員挨拶

丹羽(1年)

この度、金粕さんから、OB連絡員を引き継ぎました、1回生の丹羽と申します。今後、OB会に関する自動車部の窓口を担当させていただきます。よろしくお願い致します。

ます。

H28年12月現在

部員名簿					
役職	学科・学年	氏名	役職	学科・学年	氏名
監督	3	近藤		4	吉岡
主将	2	靄		4	有川
ラリー委員長				4	大久保
会計	3	金粕		3	河本
OB担当	1	丹羽		7ル1	橋本
学連	5M1	今門		7ル1	中野
学連	4	穴井		1	重富
学連	2	近藤		1	今澤
学連	1	川野		1	甲斐
	4M1	漆原		1	木藤

新入部員挨拶

1. 今澤(1年)

自動車部に入ったきっかけは、もともと車が好きだったこともあり友人の紹介で自動車部を見学に行った時に先輩方の車やガレージの雰囲気を見て入ろうと思いました。最初は車の知識がま

るでなかったが、今ではある程度の知識つきました。これからは自分の車を持ってより知識を深めていきたいと思っています。

2. 甲斐(1年)

僕は高校の頃から車が好きで大学に入った時に自動車部に入ることは決めていました。九工大に入学することになり自動車部に入りましたが、

競技のことなどを知って車の楽しみがさらに分かりました。これから車を持ったら運転が上手くなるよう精進したいと思います。

3. 川野(1年)

私は昔から車やバイクが好きで、大学生になったからこそ出来る運転や整備を楽しんだり学んだりしたいと思い自動車部に入部しました。昔から車の構造を調べるのが好きで、先輩方の整備でより深く学ぶことが出来てとても活動のやり

がいを感じます。自動車部については入学してから知りましたが部の歴史が長いので他校では経験できないことを経験させてもらっていると実感します。まだ自動車部員として至らぬ点が多いと思いますが、宜しくお願いします。

4. 木藤(1年)

僕が自動車部に入ったきっかけは元々車が好きであったうえにOBである兄に入部を強く勧められたことです。入部後先輩方が競技で活躍している姿を見てさらに車が好きになると共に、僕

も競技に出てみたいという気持ちが強くなりました。またつい先日車を購入しましたので、早くフィギュアを終わらせ競技に関われるようになりたいと思っています。

5. 重富(1年)

私が自動車に興味をもったきっかけは友達にすすめられて始めたゲームです。そのゲームをしているうちに、段々と実車に乗って走ってみたいと思うようになりました。そんな時に、大学で自動車部という部があるということを知って、入りたいと思ったのがこの部に入ったきっかけです。この部活に入って、大会のオフィシャルなどに参

加してリアルで走っているのを見て、今、自分はジムカーナ等の競技に出てみたいと思っています。また、競技に出るだけでなく、この部活でしかできない経験もあると思うのでそういう経験を積んでいきたいとも思っています。よろしくお願ひします。

6. 橋本(1年)

私が自動車部に入ろうと思ったのは、大学でしかできないことをやろうと思ったからです。また、高校の頃から車やバイクに興味があったのも理由の一つです。この部に入って、実際に車をいじったり、乗ったり、先輩方とお話しさせていた

だいたりできて学ぶ事が多いです。また、オフィシャルとして参加することもできたので、とてもいい経験ができています。知識不足ですが、これからも自動車部の一員として頑張っていきたいと思っています。よろしくお願ひします。

7. 中野(1年)

はじめまして 一回生、中野です。佐賀県出身です。

車が好きになったきっかけは 60 セカンズという映画でその影響かスピード狂になってしまいました(車を盗んで逃走する映画です)。映画から車に入ったので日本車はあまり詳しく無いので

すが、涙目のインプレッサにいつか乗りたいと思っています。理由が友達のGDB-E型の横に乗せてもらった時にとてつもないパワーに酔いしれただけなのでこれから変わるかもしれません。今は現実的にレガシィB4を探しています。よろしくお願ひします。

8. 丹羽(1年)

はじめまして 一年の丹羽です。出身は愛知県であり、北九州にはこの春から初めて生活することになりました。幼い頃から不思議と車に親近感を持っていましたが、車という世界を深く意識し始めたきっかけは、父と共に豊田博物館を訪ねたことだったと記憶しています 大量に並べられた様々な車を見て、そのそれぞれに異なった歴史やドラマがあることを知り、一台でも多くの車を知りたいという気持ちが強まりました。

高校生になると、車の機械的仕組みやレースの歴史、そしてそれに伴う様々な技術発達などを調べることも好きになりました。

本学に入学する前から自動車に関連する部活

動に入りたいと考えていましたが、新入生歓迎会において初めてガレージを訪ねた時に先輩方と話をさせてもらい、活動の幅広さとバックアップの豊富さに驚き、大学生活のなかで確実に得難い経験ができると考え入部しました。

入部してから先輩方の車の整備やレース活動の手伝い、様々な人々との触れ合いなど、今まで経験したことのない新鮮な日々を送ることができています。

今秋からは自身も車を所有し運転するようになったので、安全第一の下さらに多くのことに関わっていきたいと思います。

どうぞよろしくお願ひします。

— 現役活動報告 —

2016 年度 年間活動結果報告

- 4 月 ・新入生勧誘 ⇒4/5 サークル紹介にてプロモーションビデオ上映
4/2-6 車庫前にて部車、ラリー車展示(現役部員、OB 提供)
 - ・体験入部(カート走行会) ⇒4/16 実施。新入生 **6名**参加。
- 5 月 ・全九州ダートトライアル選手権大会 ⇒5/1 スピードパーク恋の浦にて。
団体:3 位/5 校、個人;エントリーせず
 - ・ACK スプリングラリー主催(JAF 九州選手権第 2 戦、JMRC 九州 CH シリーズ第 2 戦)
⇒5/14-15、添田郡、田川郡内にて開催。
 - ・新入生歓迎会 ⇒5/27 実施。新入部員 **9名**参加。
- 6 月 ・ジムカーナ選考会兼練習会
 - ・春季全九州学生ジムカーナ選手権大会 ⇒6/26 スピードパーク恋の浦にて
団体:4 位/7 校、個人;金柏 B2 4位
- 8 月 ・全日本学生ダートトライアル選手権大会⇒8/7 テクニックスステージタカタ(広島県安芸高田市)
団体男子:13 位/24 校
 - ・全日本エコドライブチャンピオンシップ 2016(鈴鹿サーキット)

- ⇒8/22 鈴鹿サーキットにて。学生クラス 優勝/37チーム 総合 準優勝/60チーム
- 9月 ・部内旅行 ⇒9/7-8 山口県秋吉台、防府天満宮
 ・現役、OB 交流会 ⇒10/1 実施
- 10月 ・秋季全九州学生ジムカーナ選手権大会⇒10/9 スピードパーク恋の浦にて開催予定
- 11月 ・工大祭 ⇒11/19-20
 ・幹部交代
- 12月 ・学内マラソン大会
- 3月 ・追出しコンパ
 ・卒業式 ⇒3/24(金)
- ※第55回 ACK-KIT ナイトラリー⇒2017年9月第1週予定

以上

平成27年度工学部自動車部決算報告

27.4.1～28.3.31

収入	金額	支出	金額
前年度繰越		学連大会参加費	
責善会部活動費		整備用工具代	
部費		部車維持費	
部員個人負担		車庫設備維持費	
		練習場所代、交通費	
第53回 KIT ナイトラリー収入		第54回 KIT ナイトラリー経費	
第54回 KIT ナイトラリー収益			
合 計		平成28年度へ繰越	
		合 計	

OB会部活動援助費 会計報告

九州工業大学 自動車部 会計 吉岡

H28.4.1～H28.9.30

収入	金額	支出	金額
前期繰越		部車 エルフ パワステ修理部品代	
OB会部活動援助費		競技会出場援助費	
		・H28. 4. 3 ダートラ チャンピオン戦1名	
		・H28. 4. 3 ジムカーナ ジュニア戦3名	
		・H28. 5. 1 全九ダートラ 16名	
		・H28. 5.29 ジムカーナ ジュニア戦2名	
		・H28. 6.12 ジムカーナ ジュニア戦2名	
		・H28. 6.26 全九ジムカーナ 19名	
		・H28. 7. 3 ジムカーナ ジュニア戦2名	
		・H28. 7.24 ダートラ チャンピオン戦1名	
		・H28. 8. 7 全日本学生ダートラ 5名	
		・H28. 8.22 EDC2016 8名	
		・H28. 9.18 ラリー チャンピオン戦3名	
		小計	
		期末残高	
		・通帳残高	
		・手持現金	
		小計	
合 計		合 計	

通帳、現金、帳票、領収書を精査し、相違がないことを確認いたしました。

平成28年 10月 1日
 明専・九州工大OB会現役支援担当
 山下

第54回 ACK・KIT ナイトラリー詳細

第54代ラリー委員長 河本(3年)

2015年3月19～20日の第54回ACK・KIT ナイトラリーが無事終了いたしましたので報告します。

今年はACK SPRING ラリーと場所を交代し、小倉南区の林道貫山線で、総距離は選手権・チャンピオンシリーズが120km、チャレンジシリーズが100kmです。

昨年からSSラリー(第2種アベレージラリー)として開催しており、昨年はJMRC九州ラリーチャレンジシリーズの一戦として開催いたしました。今年にはJAF九州ラリー選手権第1戦、JMRC九州ラリーチャンピオンシリーズ第1戦、JMRC九州ラリーチャレンジシリーズ第1戦として3月に開催いたしました。

選手権ではありましたが3月の開催ということもありエントラントの方が集まるか心配しておりましたが、24台のエントラントの方が来て下さり、

学生の方も多く大変嬉しく思っております。

当日は前日に引き続き午前中は雨が降り、土砂が流れ出ている箇所もありましたが、競技中は天候も回復し、大きな事故もなく無事に競技の進行をすることが出来ました。

今回のラリーは選手権に変わったこともあり、分からないことも多くありましたが、徳尾慶太郎さんをはじめとするACKの皆様並びにOBの皆様に全面的に協力していただき、今年も無事に開催することが出来ました。関係者皆様に心より御礼申し上げます。

来年で第55回となります。来年は9月に選手権として、今回と同じ林道貫山線での開催を予定しております。今年の実績を生かしつつ、皆様に満足して頂けるようなラリーを作りますので、今後とも皆様どうぞよろしくお願い致します。



全日本エコドライブチャンピオンシップ 2016 優勝報告

近藤 (3年)、河本(3年)



2016年8月22日(月)に鈴鹿サーキットにて開催された全日本エコドライブチャンピオンシップ2016に参加し、学生の部で優勝、総合でも2位準優勝の成績を上げましたので報告します。

参加メンバーは有川(4年生)、近藤・河本・金粕(3年生)、丹羽・重富・橋本・今澤(1年生)の8名です。

ドライバーとナビゲータの二人一組でサーキット、チャレンジ、テクニカルの全3ラウンドをそれぞれ最新のエコカーで走行し、燃費(電費)とタイムの合計ポイントによって順位を競います。

本レースは、環境省が推進する国民運動「COOL CHOICE」の一環として、燃費が良く、CO2 および交通事故削減に寄与する「エコドライブ」の全国的なムーブメントをつくることを目的としています。自動車関連団体と連携し、自動車レースの聖地である鈴鹿サーキット国際レー

シングコースで、学生および全国のエコドライブトップランナー企業・自治体が、普段のエコドライブの技術や成果を競い合います。

競技内容としては、鈴鹿サーキット外周路等を用いて、主催者にて準備した車両(3車種)で、車種毎に異なったコースをそれぞれ走行。燃費(消費燃料や電費等)やタイムの3ラウンド合計のポイントによって、順位を競います。

第1ラウンド:サーキットラウンド

車両:ホンダ フィット

ドライバー:近藤/ナビゲータ:重富

第1ラウンドなのでメインストレート上でル・マン式スタートにてスタートし、本コースを6周。フィットは燃費とタイムそれぞれ150ポイントで争われるため、燃費を狙いつつタイムを落とさない走りを目指しました。

結果は60チーム中41位でした。

第2ラウンド:チャレンジラウンド

車両:トヨタ プリウス

ドライバー:金粕/ナビゲータ:丹羽

ピットガレージよりスタートし本コースを6周し、6周の間に2回のピットスルーが義務付けられていました。

プリウスは燃費 200 ポイント、タイム 100 ポイントで争われるため、燃費だけに的を絞った走りを目指しました。

結果は 60 チーム中 5 位でした。

第3ラウンド:テクニカルラウンド

車両:日産 リーフ

ドライバー:河本/ナビゲータ:橋本

本コースを2周走った後、ピットレーンからパドックに移動し5つのチェックポイントにて課題をクリアします。

チェックポイントでは、1.空気圧チェック 2.記念撮影 3.車庫入れ 4.ボックス 5.幅寄せ の5つの課題が課せられました。

リーフは電費 100 ポイント、タイム 200 ポイントで争われるため、電費を犠牲にしてもタイムを狙う走りを目指しました。

結果は 59 チーム中 4 位でした。

以上3ラウンドの合計ポイントにより、学生クラス順位は37チーム中1位(優勝)でしたが、総合順位では元F1ドライバーである片山右京氏がドライバーを務め圧倒的な成績を残したチーム YOKOHAMA に差を付けられ2位(準優勝)となりました。

また競技終了後には片山右京氏らのトークショーや参加者同士の意見交換会が行われ、今回の大会について振り返るとともに、興味深いお話を聞くことができました。さらに今年度からはトヨタ・日産・ホンダ・モビリティランド・NOK の各社の人事関係者も参加しており、各企業と学生との交流の場としての印象を強く受けました。

今回の全日本エコドライブチャンピオンシップの参加にあたり、OB 会よりいただいた援助金を大切に使用させていただきました。ありがとうございました。

OB の方々をはじめとする自動車部の皆様のご支援により参加することのできた今回のエコドライブチャンピオンシップでの経験を活かし、運転技術の向上に努めてゆきたいと思います。そして来年は前回優勝校として、またそれ以降も総合優勝を目指して継続して参加できればと思っています。

最後になりますが、現地まで応援に駆けつけて下さった河野さん、孝橋さんをはじめとするOB の皆様、実車試乗や運転指導をして頂いたトヨタ・日産の各ディーラー様、その他各方面の皆様のご協力、ご支援、ご声援のお陰でこの度学生の部 優勝/総合準優勝 という素晴らしい結果を残すことが出来ました。厚く御礼申し上げます。

以上



河野氏撮影 会場とサーキット

- 参加者感想 -

1. 近藤(主将:3年生)

九州工業大学自動車部としてはエコドライブチャンピオンシップに2014年度大会から参加を始め、今年で参加3年目となります。私も2014年度大会から参加させて頂いており、今年ドライバーとして参加しました。

F1等の大規模なレースも行われ、「モータースポーツの聖地」である鈴鹿サーキットで開催された本大会に参加し、鈴鹿サーキットを走行出来た事、また学生優勝・総合準優勝という輝かしい成績を残せた事は自分の中で非常に有意義な経験であり一生の思い出になりました。

2. 金粕(主務:3年生)

僕は今大会が初めての参加でしたので、鈴鹿サーキットの国際レーシングコースを走れることが純粋にうれしく、正直勝つことに対する意識はあまり高くなかったのですが、大会に出場する以上勝ちたいという意識はやはりあったので、大会前にプリウスの試乗をさせにもらいに行ったり、シミュレーションゲームで何度も鈴鹿を走ったり、如何に燃費を向上させるか調べたり仲間と話したりと、対策は色々していました。また本番中は何度も楽しくなり、ついアクセルを踏み込みたくなりましたが燃費を向上させるために我慢することも大変でした。結果として良い成績を収めることが出来たので非常に嬉しいです。

3. 河本(ラリー委員長:3年生)

今回、自分はエコドライブチャンピオンシップ3度目の参加でありリーフのドライバーを担当しました。リーフのドライバーを務めるにあたり、日産ディーラーさんを伺いリーフの試乗をさせて頂きました。またこれまでの参加の経験を活かしリーフはタイムでの順位1位を目標とし、これを達成できたことが勝因だと思います。学生の部優勝のプライドを持ち、後輩たちへ運転技術を伝えていくとともに、さらなる向上に努めてまいります。

4. 重富(1年生)

今回、私は初めてエコドライブチャンピオンシップに参加しました。自分はナビとしての参加でしたが、鈴鹿サーキットを走ることができたのでそれだけでもとても楽しかったです。また、それだけでなく先輩方の記録が良く、学生の部で優勝することができ、とても良かったです。

私はまだ免許を持っていませんが運転をするようになった時は環境や燃費に気をつけて走ることができるようになりたいとも思いました。

5. 丹羽(1年生)

今回の大会は、初めて自分自身が同乗として参加するものとなり、普段の活動とは異なった新鮮なものでした。全国規模の大会であるため多くの大学やチームが参加しており、その中で自分達の部がこのような結果を残せたことは本当に嬉しく、自分にとっても素晴らしい思い出となりました。今後もさらに部の活動に参加し、努力していきたいと思えます！

6. 橋本(1年生)

今回、全国規模の大会にナビとして出させて頂きました。初めてだったので分からないことだらけでしたが、無事走りきることが出来ました。学生の部で優勝したチームの一員になれてとても嬉しいです。

7. 有川(4年生)

結果発表で九州工業大学自動車部が呼ばれた時、とても驚きました。

今回の成績は日頃の部活動での活動の成果だと思います。

これからも自動車部で運転技術を磨いていきたいと思えます。

8. 今澤(1年生)

エコドラを通して鈴鹿サーキットという有名なサーキットを肌で感じる事ができ、またエコドライブに関する知識もついていい経験となりました。

全日本エコドライブチャンピオンシップ 2016 観戦記

中京支部 副幹事 河野 (s49)

自動車部現役の支援をして戴いているOBの山下さんから一昨年、昨年と案内がありましたが、北海道旅行と重なり、応援参加が出来ず残念な気持ちを持っていました。

今年は、1週間日程がずれたため、喜んで応援のため鈴鹿サーキットへ向いました。

サーキット入口に、部員の有川さん、今澤さんが迎えて下さり、入場・駐車券を戴きました。

早速、開会式場で部員の方々に会い、記念写真を撮りました。(写真1、写真2)

長時間運転して来た疲れは見えますが、意欲・やる気を感じる逞しい後輩達でした。

全員の名前は、金粕、有川、近藤(広)、河本、重富、橋本、丹羽、今澤(敬称略)です。

開会式が始まり、鈴鹿市副市長他、主催、来賓の挨拶や紹介がありました。(写真3、前掲)

リーマンショックで一時中断がありましたが、再開後年々盛り上がってきている旨の挨拶をされていました。片山右京さんが居ました。

競技は、「タイム」と「燃費(電費)」を競いますが、3 ラウンドおのおの採点のルールがあり、観戦としては、トップを争う白熱した状況は判りにくく、競技は淡々と進んでいきます。(写真4、前掲) 途中経過はタイムのみの結果を示すので、一般の部を含め、始めは40位前後でした。おそらく作戦的に燃費重視で競技を進めているのは、理解していました。

夕方豊田市で予定があり途中退席をしました。

夕方に即刻、金粕さん・有川さんから電話での報告があり、学生の部:優勝(47大学)!

思わず、歓喜の声を上げ「万歳! 万歳! 万歳!」と叫んでいました。

嬉しくて、「自動車部OBの会長・幹事の方々」「明専会の会長・理事の方々」「理事である副学長の鶴田先生」「中京支部の企業幹事の方々」へ朗報報告を入れました。大学でも、鶴田副学長が尾家学長へ報告をして下さいました。

兎に角、嬉しい一日、楽しい観戦でした。了



写真1 前列左から2番目が河野氏



写真2

現役支援サポート隊の取り組みについて

OB会 現役交流担当 山下

1. 今期の計画および実績(H27年10月～H28年9月)

① 第53回KIT Night Rally準備の支援(H27年8月～H27年11月)

・コースおよび問題の監修

⇒コース試走、問題監修(H17犬丸、H22北垣、H23岩本、H24石原、H1山下)

⇒印刷物確認、大会準備フォロー(S59小川、H3福田、H22北垣、H23岩本、H24石原、H25八尋、H1山下)

・官公庁届出

⇒赤村役場、添田町役場申請書類の確認、対応支援(S59小川、H1山下)

⇒田川警察署申請書類の確認、対応支援(S59小川、H1山下)

※今回、役場、警察への申請は、現役部員のみで訪問した。

② 第53回KIT Night Rally当日支援(H27年11月28日～29日)

・事前案内(10月初旬) ⇒連絡希望登録者へのメール配信(山下)

・募集(10月下旬) ⇒連絡希望登録者へのメール配信(山下)

・最終確認とスケジュール連絡 ⇒電話連絡(現役部員)

※競技役員参加者:S54坂田、S54山下、S58高橋、S59小川、H3福田、H17犬丸、H17大庭
H18石丸、H22北垣、H23岩本、H24石原、H25八尋、H26福田H1山下

③第54回KIT Night Rally準備の支援(H27年12月～H28年3月)

・コースおよび問題の監修

⇒コース試走、問題監修(H9森若、H17犬丸、H22北垣、H23岩本、H24石原、H1山下)

⇒印刷物確認、大会準備フォロー(S59小川、H22北垣、H23岩本、H24石原、H1山下)

・官公庁届出対応

⇒北九州市役所経済局農林課訪問同行(H1山下)

⇒市役所、小倉南署申請書類の確認、対応支援(S59小川、H1山下)

④第54回KIT Night Rally当日支援(H28年3月19日～20日)

・事前案内(1月下旬) ⇒未実施。募集連絡に集約。

・募集(2月下旬) ⇒連絡希望登録者へのメール配信(H1山下)

・最終確認とスケジュール連絡 ⇒電話連絡(現役部員)

※競技役員参加者:S54坂田、S54山下、S58高橋、S59小川、H3福田、H9森若、H17犬丸、
H17大庭、H22北垣、H23岩本、H26村田、H26福田、H1山下

⑤新入生勧誘のフォロー

・展示車両の手配、貸し出し。 ⇒OB提供のラリー車の展示を実施(H28年4月2-6日)。

S54坂田(マツダデミオ)、H9森若(ホンダイインテグラ)、H23岩本(マツダデミオ)

⑥競技参加支援

・活動援助金制度の運用

⇒H27年10月11日全九州学生ジムカーナ選手権大会(選手・応援者計14名)

⇒H27年12月13日JMRC九州フェスティバル(穴井/吉岡、有川/金粕、杉谷/坂元、
河本/平田、近藤員/靄、近藤広/漆原)

⇒H28年2月14日九州ジムカーナJrシリーズ第1戦洞海(河本、近藤員)

⇒H28年3月13日九州ジムカーナJrシリーズ第2戦V/洞海(河本)

- ⇒H28年4月3日九州ダートトライアル選手権第1戦CRMC(吉岡)
- ⇒H28年4月3日九州ジムカーナJrシリーズ第3戦T-OM(河本、近藤員、有川)
- ⇒H28年5月1日全九州学生ダートトライアル選手権大会(選手・応援者計16名)
- ⇒H28年5月29日九州ジムカーナJrシリーズ第4戦T-XT(河本、近藤員)
- ⇒H28年6月12日九州ジムカーナシリーズ第5戦RASCAL(河本、近藤員)
- ⇒H28年6月26日全九州学生ジムカーナ選手権大会(選手・応援者計19名)
- ⇒H28年7月3日九州ジムカーナJrシリーズ第5戦RTCR(河本、近藤員)
- ⇒H28年7月24日九州ダートトライアル選手権第6戦GRAVEL(吉岡)
- ⇒H28年8月6,7日全日本学生ダートトライアル選手権大会(選手・応援者計5名)
- ⇒H28年8月21,22日全日本エコドライブチャンピオンシップ(選手・応援者計8名)
- ⇒H28年9月17,18日九州ラリー選手権第6戦GRAVEL(北垣(OB)・河本、吉岡・近藤員)

⑦ラリー啓発

- ・部内ラリーの開催、ナビ講習 ⇒開催未定

⑧日常練習の活性化

- ・フィギュア練習の指導 ⇒OB/現役交流会(10/1)にて、練習会開催
- ・整備作業の手解き(新入部員向け)⇒Engオイル、オイルフィルタ、T/Mオイル交換作業(7/ 6)

⑨親睦行事

- ・OB/現役交流会(H28年9月) ⇒10月1日実施
- ・餅つき会(H28年12月30日)

⑩卒業生のフォロー

- ・追出しコンパ ⇒H28年3月22日(現役のみで開催)
対象者;坂元(),漆原(),今門(),日野())
- ・卒業後の連絡先の把握
⇒坂元;いすゞ自動車
⇒日野;大阪住友セメント
⇒漆原;九工大大学院進学
⇒今門;九工大大学院進学

⑪休眠OBの掘起し

- ・活動実績の送付(メール) ⇒取組み検討中
- ・九州地区OB名簿のアップデート
- ・平成年代卒業生の掘り起こし

以上

現役交流担当より物品援助のお願い

下記の物品について、不要な物がございましたらお譲りください。

- ・フィギュア練習用車両(小型乗用(5ナンバー)、普通乗用(3ナンバー)、小型貨物(2t車))

※廃車済、廃車予定のもので構いません。

- ・折り畳みテーブル(会議用)

- ・プロジェクター,液晶モニター・テレビ(30型~)
- ・ホワイトボードまたは黒板
- ・整備用工具類 など。

連絡先:現役交流担当 山下(H1年)

第5回 現役・OB 交流会開催

現役交流担当 山下(H1)

去る2016年10月1日(土)、第5回現役・OB交流会を開催いたしました。今回は、「フィギュア練習会」・「活動報告会」・「懇親会」の三部構成で実施いたしました。

「フィギュア練習会」は、一昨年の「クイズラリー練習会」、昨年の「計算ラリー練習会」と合わせ、昭和～平成初期の自動車部の主な活動を現役世代に体験してもらう目的で企画しました。現在、学連九州支部ではフィギュアの競技会を休止しており、競技フィギュアを体験するには、全日フィギュアに参加するしかありません。KITACでもフィギュアの練習は、たまにBox(タコツボ)を練習するくらいで、ほとんど行われていない状態です。今回、予定していた時間が短く、現役・OB合わせて数名しかチャレンジすることができませんでしたが、S54年卒の坂田先輩がダントツのタイムでゴールされ、「昔取った杵柄」を充分発揮されました。また、現役部員も興味を持ってくれたようです。フィギュアは車両感覚を覚えるのに最適ですし、日常の練習に取り入れる事で部活動の活性化が図れるのではないかと期待しています。

工大前の“みやび”で昼食を取った後、第二部の活動報告会を車庫にて行いました。本年8月に鈴鹿サーキットで行われた全日本エコドライブチャンピオンシップ2016の優勝報告を中心に現役の活動報告、OB会現役支援サポート隊の活動報告をおこないました(次項詳細)。報告会の中で、S48年卒の高見先輩(明専会門司支部長)より明専会北九州五支部総会で優勝報告をおこなうことを勧められ、近藤・河本の2名が10月14日の五支部総会にて報告いたしました。

懇親会は、OB5名、現役14名が出席し、お

互いの親睦を深め、大いに盛り上がりました。今回の概要は、以下の通りです。

(第一部)【フィギュア練習会】

1. 日 時 平成28年10月1日(土)
10時～13時
2. 場 所 自動車部車庫前
3. コース 別紙コース図参照

(第二部)【活動報告およびOB・現役交流会】

1. 日 時 同日 15時～17時
2. 場 所 自動車部車庫前
3. 議 題 (1)自己紹介(現役・OB)
(2)活動報告(現役・OB)
(3)意見交換

(第三部)【懇親会】

1. 日 時 同日 19時～21時
2. 場 所 焼とり 鳥山(戸畑区境川)

【参加者】

- (OB) 高見 (S48)、中西 (S50)、
坂田 (S54)、山下 (H1)、
福田 (H3)、犬丸 (H17)、
北垣 (H22)、岩本 (H23)、
福田 (H26 中)
- (現役) 漆原 (M1)、今門 (M1)、
大久保 (4年)、穴井 (4年)、
吉岡 (4年)、近藤 (3年)、
金粕 (3年)、河本 (3年)、
近藤 (2年)、靄 (2年)、
今澤 (1年)、甲斐 (1年)、
木藤 (1年)、橋本 (1年)、
中野 (1年)、重富 (1年)、
丹羽 (1年)、川野 (1年)

交流会席上報告内容

1. 新入生体験入部について

本年も4月に新入生を対象に実際にカートに乗って走る体験入部を行いました。

また、車庫前での運転体験も実施しました。

その結果1年生9人の新入生が入部しました。

今後も継続して部員数増加を目指した活動を続けていく予定です。

2. 全日本学生自動車連盟九州支部主催の競技会への参戦

①5月1日に行われた全九州学生ダートトライアル選手権大会に参加しました。当部からは部車のスターレットで団体戦に出場しました、成績は団体の部が5校中3位、個人の部は参加なし。

②春季全九州学生ジムカーナ大会は6月25日に行われました。当部からは団体戦にB車両のミラージュで出場し、結果は団体の部が7校中第4位、個人では3年の金粕が4位でした。

③10月9日には秋季全九州学生ジムカーナ大会の開催が予定されています。大会に向けて少しでもいい成績が残せるよう練習や整備を行っております。なお、当部から3名の連盟委員を派出し、学連の運営に携わっています。また、選手以外の部員はオフィシャルやサービスとして、全員が大会に参加しています。

④8月7日に広島県で行われた全日本学生ダートトライアル選手権大会に参加しました。近年、全日本学生ダートトライアル選手権大会への参加は行われていみせんでしたが今年は参加しました。

本大会は団体戦で競われ当部からは部員が提供したミラージュ(黄色)で出場し、ドライバーとして4年の吉岡、有川、3年の河本が、サービスとして3年の近藤ヒと近藤カが参加しました。成績は男子団体24校中13位でした。

全国の他の自動車部との差を知ることができ、良い経験となりました。

3. 8月22日に鈴鹿サーキットにて行われた全日本エコドライブチャンピオンシップ 2016

(別項参照)

4. KIT ナイトラリーの主催について

今年はJAF九州ラリーチャンピオンシリーズ第1戦並びに全九州学生チャンピオンシリーズのラリー部門大会競技会として、3月19日、20日に開催しました(別項参照)。

平成29年も引き続き、JAFのラリーチャンピオンシリーズの一戦として9月第1週(9/2,3)に開催することになりました。

OBの皆さんのご協力をお願いいたします。

5. 北九州オートクラブが主催するラリーの準備と運営について

JAF加盟クラブ 北九州オートクラブの主要メンバーとして、5月に開催した2016ACKスプリングラリーの事前準備および競技会運営全般を担当しました。

6. オフィシャル活動について

今年は熊本震災の影響でオートポリスサーキットでのレースが行われていないためオートポリスでのオフィシャル活動は出来ていませんが、地元で開催された全日本ジムカーナなどにオフィシャルとして参加しています。

7. JAF 競技会への参加について

①今年度はドライバーとして3年の河本、近藤(学連委員長)、4年の有川がJMRC九州ジムカーナジュニアシリーズに参戦しており、河本は6分の5戦終わってB-FF2クラスのポイントリーダーです。

②昨年JMRC九州ダートトライアルジュニアシリーズS2クラスでチャンピオンを獲得した4年の吉岡は今年、JAF九州ダートトライアル選手権に出場しており9月25日の大会では2位になりました。また吉岡はラリーにも積極的に出場しております。

③部の方針としてはこれからもJAF競技に積極的に参加していく予定です。

8. 日常の部活動について

①日常の部活動として、車庫前での練習、部車および部員車両の整備を行っています。

②ブログも運営しており日々の活動内容を記録しております。多くの大学自動車部が利用しており、部の活動を広めていくために活用しております。なお、今年の7月ごろに今まで使っ

いたアカウントが使えなくなったため、現在は別のアカウントになっております。

交流会参加者感想

丹羽(1年)

今回、OB 交流会に初めて参加させてもらい、自分がコースを走ることとなりました。

自分自身車の運転がまだまだ未熟であり、フィギュアについては特に苦手で、時間のあるときにガレージ前でタコツボについては練習をしていたのですが、缶潰し、脱輪などミス多発となりました。

しかし、OB の先輩方の運転を多く見させてもらい、車の動く範囲や周囲の状況を瞬時に把握する力に差があるとわかり、特にタコツボにおいては自身で最初にしっかりと動きを理論立ててから取り組む冷静さも必要であるとわかりました。

特に、先輩方が見せてくださった動きや、タコツボなど狭い範囲におけるの切り返しの際に

停止する前にハンドルを戻しておく事、なるべく中心付近を使って車の向きを変えていく事などは、自車でのフィギュアにおいても大きなヒントになっているので本当に良い経験ができたと思っています。

また、普段行ったことのないスラロームを含んだ長いコースを体験でき、フィギュアの奥深さにも触れることができました。

これからの練習においても今回学んだ事を忘れることなく、車の動きの正確な把握力と、最適な移動方法を論理的に見出す力を向上させていきたいと思います。

ありがとうございました。

穴井(4年)

10月1日(土)に九州工業大学内の自動車部車庫にて、第5回 現役・OB 交流会が開催されました。

現役部員18名と自動車部OB8名が参加し、フィギュアを通じた交流と、自動車部の活動報告が行われました。

フィギュアは車庫前の敷地で行われ、車両は以前OBより提供されたホンダフィットを使用しました。ボックスやスラロームを交えたコースとなっており、狭さも相まってなかなかの難易度となりました。現役が苦戦する中、OBの皆さんは高い運転技術を披露され、現役一同は技術を盗もうと目を凝らして見ていました。普段の活動でのフィギュアはボックスのみということもあり、練習内容を改善していこうという動きに繋がりました。活動報告では、先日のエコドライブ優勝も含め、KIT ナイトラリーや大会成績の報告が行われま

した。エコドライブ優勝により日本一の学生自動車部という箔が付き、これからの活動が重要になっていく中、しっかりと多方面にアピールして活動の幅を広げていくことが重要との指摘を頂きました。機を逃さぬよう、活動していきたいと思っています。

ところで、4年前に現役とOB会との交流が活発になったことにより、自動車部の活動をより充実したものにすることができました。NOK クリューバー株式会社が九州工業大学自動車部のスポンサーとなったこと、現役活動援助制度の新設、OBから現役への車両の情報提供の増加など、これらはOB会との交流が密になったことによりもたらされたものです。

私事ではありますが、私は6年間在部し、自動車に関することだけではなく、様々な知識や経験を身に着けました。多くの工具の扱い方、規

則に準じた団体の動かし方、公的機関や民間企業への対応など、これらは広い活動範囲を持つ自動車部ならではの経験です。1941年から始まる長い歴史の中で積み上げられた伝統と経験が、このような自動車部を作り上げてきたのだと思うと、自動車部は現役のものだけではなく、先輩方もあつての自動車部だと感じるようになりました。

OB会は自動車部にとっての親のような存在であり、そのような存在が大学部活動にあることは非常に有難いと感じています。これからも交流

を続けていくことで、色々な可能性が広がっていくと確信しています。あくまで現役は現役、何もかも頼ってはいけないという思いもありますが、現役では手の届かないような機会を示していただけると、自動車部をより活発にしていけると思います。今後も現役・OB交流会を開催していく中で、多種多様な交流が行われることを期待しています。

来年からは私も自動車部OBとなります。現役の活動を尊重しつつ、何かしらの支援の形で現役と関わることができればと思います。



平成28年度活動報告(H27/10-H28/9)

最終修正:平成28年10月10日

作成:平成28年9月30日

OB会 事務局 中西 150)

【上期活動実績】(OB会員敬称略)

平成27年

- 10/9 :部活動援助費H27年度下期分送金⇒OB会会計から 円(武地)
- 10/9 :平成27年9月(第8回)OB会総会(熱海)現役2名分参加交通費送金
⇒OB会会計から 円(武地)
- 11/28-29 :第53回KITナイトラリー現役支援(JMRC九州ラリーチャレンジシリーズ第7戦)
<http://himaob7.kagebo-shi.com/KIT03/2015.11-kit-rlv.html>
- 12/5 :メルマガ第1号(再出発)配信(今後2, 3ヶ月毎に配信予定)
(主な目的は名簿整備のやり方を変えて自動車部OBを掘起し、
OB会員増員の手段としたい。名簿担当:西原s54、松元s55)
- 12/15 :流星27号発行(武地)
- 12/27 :メルマガ第2号配信(西原s54、松元s55)
- 12/30 :餅つき会(現役との交流)

平成28年

- 1/16 :関東地区部会・新年会(前年OB会総会慰労会)開催(六本木韓居酒屋にて)
(木村s36、門司s37、中島s43、佐藤(久雄)s46、佐伯s50、
中西s50、武地s51、坂井s52、板井s52、早田s54、近藤s54、榎本s54、
西原s54、津曲s59、松本(寛治)h14、渡辺h25、鶴h19(自動車部外) 計17名)
http://himaob7.kagebo-shi.com/KIT03/2016.01-kat_obkai_utiage.html
- 3/12 :メルマガ第3号配信(西原s54、松元s55)
- 3/19-20 :第54回KITナイトラリー現役支援(JMRC九州ラリーチャンピオンシリーズ第1戦)

【下期活動実績】

(OB会員敬称略)

- 平成28年 4/2-6 :新入生勧誘のフォロー(OB提供ラリー車の展示)(坂田s54、森若h9、岩本h23)
- 4/9 :関西地区部会・懇親会開催(姫路城近郊散策&九州炉端弁慶にて)
(橋s40、木庭s43、田中(直)s45、古河s46、小泉s48、山崎s49、中西s50、孝橋s55 計8名)
- 4/14 :【メール役員会】「平成28年度活動報告(上期)、会計報告(上期)の件」
- 4/26 :部活動援助費上期分(H27.10.1~H28.3.31カンパ分)一括送金
⇒OB会会計から 円(武地)
- 5/6 :【役員会-KITAC】「平成28年度現役支援活動・支援金決算報告(上期)の件」
- 5/14-15 :ACKスプリングラリー2016/JAF九州ラリー選手権第2戦開催にOB・現役運営参画
- 8/22 :全日本エコドライブチャンピオンシップ2016現役応援(河野s49、孝橋s55)
※学生クラス:優勝、総合:準優勝
- 9/11 :【平成29年(第9回)OB会総会】(関西地区主催)第1回実行委員会開催(準備キックオフ)
(大阪 大淀コミュニティセンターにて) (中原s39、橋s40、木庭s43、小泉s48、山崎s49、
中西s50、石野田s54、石田s55、孝橋s55、三好s62 計10名)
- (ご参考) 10/1 :第5回現役交流会(OB現役交流フィギュア練習会/活動報告・OB現役交流会/懇親会)
(OB:高見s48、中西s50、坂田s54、山下(利)h01、福田h03、犬丸h17、北垣h22、
岩本h23、福田(進)h26退 計9名)
(現役:監督 吉岡(4年)、主将 近藤(3年)、OB担当 金粕(3年)他 計18名)
- 10/4 :部活動援助費下期分(H28.4.1~H28.9.30カンパ分)一括送金
⇒OB会会計から 円(武地)
- 10/4 :第5回現役交流費送金 ⇒OB会会計から 円(武地)

平成29年度活動計画(H28/10-H29/9)

最終修正:平成28年11月6日

作成:平成28年9月30日

OB会 事務局 中西 050)

- 【上期活動計画】** (OB会員敬称略)
- 平成28年 10/1 :第5回現役交流会 (OB現役交流フィギュア練習会/活動報告・OB現役交流会/懇親会)
(OB:高見s48、中西s50、坂田s54、山下(利)h01、福田h03、犬丸h17、北垣h22、
岩本h23、福田(進)h26退 計9名)
(現役:監督 吉岡(4年)、主将 近藤(3年)、OB担当 金粕(3年)他 計18名)
- 10/4 :部活動援助費下期分(H28.4.1~H28.9.30カンパ分)一括送金
⇒OB会会計から 円(武地)
- 10/4 :第5回現役交流費送金 ⇒OB会会計から 円(武地)
- 10/29 :【役員会-KITAC】「平成28年度活動・会計報告、平成29年度活動計画(案)・会計予算(案)及び役員人事(案)の審議並びに現役支援活動・支援金決算報告他の件」
- 11/27 :【平成29年(第9回)OB会総会】(関西地区主催)第2回実行委員会開催(兼 忘年会)
(大阪 国労大阪会館にて)
- 12/中 :流星28号発行(武地)
- 12/30 :餅つき会(現役との交流)
- 平成29年 1/22 :【平成29年(第9回)OB会総会】(関西地区主催)第3回実行委員会開催
(大阪 此花区民ホールにて)
- 3/26 :【平成29年(第9回)OB会総会】(関西地区主催)第4回実行委員会開催
- 【下期活動計画】** (OB会員敬称略)
- 平成29年 4/中 :【役員会-KITAC】「平成29年度活動報告(上期)、会計報告(上期)及び
現役支援活動・支援金決算報告(上期)の件」
- 4/中 :部活動援助費上期分(H28.10.1~H29.3.31カンパ分)一括送金
- 6/下 :【平成29年(第9回)OB会総会】(関西地区主催)第5回実行委員会開催
- 9/2-3 :第55回KITナイトラリー現役支援(JMRC九州ラリーチャレンジシリーズ)
- 9/中 :【役員会-KITAC(総会前事前)】「役員人事及び課題等審議予定」
- 9/下 :【平成29年(第9回)OB会総会】(関西地区主催)第6回実行委員会開催(最終準備会)
- (ご参考) 10/21 :【総会前役員会-KITAC】”定例総会時役員会審議事項一覧”により開催予定
- 10/21-22 :【平成29年(第9回)OB会総会】開催予定(関西地区主催)

役員人事

OB会 事務局 中西 150)

役員		⑥【平成25年10月26日以降】 (H25/9/20、メール役員会での承認人事) (H25/10/26、総会での承認人事)			⑦【平成27年9月26日以降】 (H27/8/19、メール役員会での承認人事) (H27/9/26、総会での承認人事)			⑧【平成29年10月21日以降予定】 (H28/11/6、メール役員会での承認人事)			特記事項			
会長	木村:		§36)		木村		§36)		木村		§36)	留	<p>内容： 関西地区の副幹事に (金55)の孝橋生郎 氏を追加する。</p> <p>理由： 2016年9月11日開催 の関西地区部会で今 後の活動体制強化、 特に2017年秋の関西 地区主催OB会総会 の準備を円滑に実行 するために副幹事を 1名追加することが決 議されました。(山崎 幹事からメール受理)</p>	
副会長	木庭:		§43)	兼	木庭		§43)		木庭		§43)	留		
副会長														
九州	幹事	伊東:		§44)	伊東		§44)		伊東		§44)	留		
	副幹事	山本:		§46)	山本		§46)		山本		§46)	留		
	副幹事	柴田:		§45)	柴田		§45)		柴田		§45)	留		
関西	幹事	木庭:		§43)	兼	山崎		§49)	新	山崎		§49)		留
	副幹事	山崎:		§49)		三好		II 62)	新	三好		II 62)		留
	副幹事								孝橋		§55)	新		
中京	幹事	川越:		§47)	川越		§47)		川越		§47)	留		
	副幹事	河野:		§49)	河野		§49)		河野		§49)	留		
	副幹事													
関東	幹事	門司:		§37)	門司		§37)		門司		§37)	留		
	副幹事	宮崎:		§39)	宮崎		§39)		宮崎		§39)	留		
	副幹事	坂井:		§52)	新	坂井		§52)		坂井		§52)		留
事務局	中西		150)	兼	中西		150)		中西		150)	留		
会計	武地:		II 51)	兼	武地		II 51)	兼	武地		II 51)	留・兼		
会計監査	田中:		§45)		田中		§45)		田中		§45)	留		
会誌担当	武地:		II 51)	兼	武地		II 51)	兼	武地		II 51)	留・兼		
名簿担当	松元:		§55)		松元		§55)		松元		§55)	留		
名簿担当	西原:		§54)	新	西原		§54)		西原		§54)	留		
現役交流担当	中西:		150)	兼	山下		H1)		山下		H1)	留		
現役交流担当	山下:		H1)	新										
HP担当	近藤:		§54)		近藤		§54)		近藤		§54)	留		

OB 会平成 28 年度会計報告

OB 会 会計 武地(s 51)

下表のとおり平成 28 年度会計報告が、メール委員会にて平成 28 年 11 月 7 日にて承認されました。

平成28年10月メール役員会

平成28年10月13日

OB会会計 武地

平成28年度決算報告

下表のとおり報告する。会費収入が予想より少なかったが、総会準備費残金返納や流星郵送代が安く(メール宅急便が使えた)なり次期繰越額は、ほぼ予算通り。

H27. 10. 1~28. 9. 30

収入	金額	支出	金額
前期繰越 *1		振替手数料	
会費		現役交流費	
部活動援助費		流星27号印刷費	
OB会カンパ		同 郵送代	
H27/9総会準備費残金		事務費、通信費	
[今期収入小計]		部活動援助費	
		[費用小計]	
		次期繰越	
合 計		合 計	

*1: 繰越額が下表予算と異なるのは、H27.11.2付で決算報告時に承認済み。
(現役の総会参加旅費ほか 〃の支出)

(参考)平成28年度予算【27年役員会で承認済み内容】

収入	金額	支出	金額
27年度繰越		振替手数料	
会費		現役交流費	
現役部活動援助費		流星印刷費	
OB会カンパ		同 郵送代	
		事務費、通信費	
		現役部活動援助費	
		[費用小計]	
		28年度への繰越	
小計		小計	

OB会平成29年度 予算

以下の予算案が、OB会総会にて平成28年11月7日に承認されました。

平成28年10月役員会

平成28年10月25日
訂正A;H28/11/23
OB会会計 武地

平成29年度予算 (案)

平成28年10月1日～平成29年9月30日

行事
平成28年12月 流星28号発行
平成29年秋 OB会総会(関西地区開催予定)

収入	金額	支出	金額
28年度繰越		振替手数料	
会費			
現役部活動援助費		流星印刷費	
OB会カンパ		同 郵送代	
		事務費、通信費	
		現役部活動援助費	
		OB会総会準備費	
		現役OB総会参加交通費補助	
		〔費用小計〕	
		30年度への繰越	
合計		合計	

訂正Aの説明:
28年度繰越金額を
とすべきところを
と記載。
(28年度決算から誤転記)

繰越額減少

説明(下表の過去実績参照方)

【収入の部】

- 会費は、2年に一度の徴収のため、奇数年度は偶数年度より少なくなる。25年度並みの
- 援助費(収入);同上理由で29年度は振込者が減るので収入減を予想し、25年度並み
- OB会カンパ;25年度並みとした。

とした。

【支出の部】

- 振替手数料;奇数年度平均並み
- 流星印刷費、郵送代;昨年並み。郵送代;クロナメール便が継続使用可能と判明。昨年並み
- 事務費、通信費;平均並み
- 現役部活動援助費:振込者が減少の傾向。28年度実績より下げ、を目標とする。
- OB会総会が関西地区で開催される予定で、準備費5万円、現役1名分の参加交通費

関西への通常旅費)。

2015/9/1作成
2016/10/7見直し(色付き部)

OB会収支履歴(27年実績、28年実績を追加)

【参考】

収入実績

	28年度	27年度	26年度	25年度	24年度	23年度	22年度	直近3年 偶数年度	直近3年 奇数年度	全平均
	会費									
現役部活動援助費										
OB会カンパ										
総会余剰金など										
小計										
参考:振込者数										

支出実績

	28年度	27年度	26年度	25年度	24年度	23年度	22年度	直近3年 偶数年度	直近3年 奇数年度	全平均
	振替手数料									
総会準備費										
流星印刷費										
同 郵送代										
事務費、通信費										
現役交流費、総会参加補助										
現役部活動援助費										
小計										

総会有 総会有 総会有
27年度(関東総会)に限り現役の総会参加交通費補助 が認められた。

収支

翌年度への繰越

注:25年度収支赤字大は、役員会承認受け実行した、OB会留保を現役活動援助費に支出の為(25年度決算と26年予算案を参照)。

平成28年度 OB 会 会費、部活動援助費、OB 会カンパ振込状況

皆様のご理解とご協力にお礼申し上げます。OB 会費は、2 年に一度です。

平成28年度 振込者				平成28年11月1日				
No	月日	科	年	氏名	会費	部活援助費	OB会へ	備考
1	2015/10/2		40	橋 じ)	
2	2015/10/21		44	伊東)	27年度分
3	2015/12/24			木村)	
4			38	犬塚)	
5			45	八木)	
6			59	大井)	
7	2015/12/25		28	山田)	
8			46	細川)	
9	2015/12/26		55	孝権)	
10	2015/12/28		55	光成)	
11			46	山本)	
12			58	島村)	
13			46	中野)	
14			48	小泉)	
15			33	斉藤)	
16			50	中西)	
17			43	山本)	
18			44	伊東)	
19	2015/12/29		48	泡田)	
20			59	稗田)	
21			42	芳賀)	
22			36	佐佐)	
23	2016/1/5		48	平松)	
24			52	永田)	
25	2016/1/6		45	坂本)	
26			51	白倉)	
27	2016/1/7		50	牛島)	
28	2016/1/8		39	松本)	
29	2016/1/12		43	宇塚)	
30	2016/1/13		51	武埴)	
31			H9	森若)	
32			29	廣田)	
33	2016/1/16		25	中野)	
34	2016/1/19		30	中島)	
35			28	島 正)	陽子様から。 流星送付中止
36	2016/1/21		39	中原)	
37			46	佐藤)	
38			43	木庭)	
39	216/1/28		H1	山下)	
40	2016/2/15		39	吉武)	
41	2016/2/19		37	門司)	
42	2016/2/22		H2	藤井)	
43	2016/2/23		52	坂井)	
44	2016/2/23		33	嘉村)	
45	2016/2/29		44	藤田)	
46	2016/3/2		36	飯田)	
47	2016/3/5		40	木田)	
48	2016/3/30		55	網田)	
49	2016/4/10			川崎)	奥様みどり様から。 流星送付止め
50	2016/4/18		36	木村)	
51			49	河野)	
52	2016/5/24			新開)	
53	2016/7/12		48	古本)	
54	2016/7/21		49	山崎)	

会計監査報告

会計監査 田中(s45)

会計監査報告書


平成28年10月11日

明専・九州工大自動車部OB会

会長 木村 殿

平成28年10月10日 明専・九州工大自動車部OB会 会計に関する帳票・領収書などを精査しました。その結果平成28年度の決算報告については、適法・適正に処理されていることを確認しました。

以上報告いたします。

会計監査 田中 

— 関西地区 総会のお知らせ —

次回 OB 会総会 2017 年 10 月 21 日開催

関西地区幹事 山崎(s49)



9 月 11 日キックオフ



11 月 27 日第 2 回委員会

平成 29 年度の総会は関西地区の担当になっております。平成 28 年 7 月、8 月にプリミーティングを実施し 9 月 11 日にはキックオフを開催し総会実行委員会を設置し各役割担当を決定し準備スタートいたしました。

委員は老壮青のバランスがとれた組織とはいえず、人数もまだまだ足りない状況です。なんとか若手を募って充実しようと考えています。

11 月 27 日は第 2 回目の委員会を実施し、開催案が纏まりましたので次の通りお知らせします。

日時:平成 29 年 10 月 21 日(土)~22 日(日)
場所:KKR琵琶湖ホテル(大津市)

総合的な観点から 7 年前と同じ会場と致しました。総会前後のイベント内容は自動車部に関連した楽しいもの(スカベンジャーラリー・カート等)を含め検討準備中ですのでご期待の程お願いします。

追って、来年 4 月には正式な開催案内をお届けしますので、OB各位には奮ってご参加下さるよう、お願い申し上げます。

- 会員名簿 -

会員名簿は個人情報になりますので、お取扱にご注意をお願いします。

住所が空欄の方は、連絡方法がありません。お知り合いの方が居られましたら、ご本人様に、流星担当 武地 (最終ページに住所、Email アドレス掲示)に連絡いただようお願いいたします。住所は、流星の配布やOB会からの連絡に使います。住所の記録がある方でも流星が返送されます。皆様も連絡先変更をご連絡いただくと幸いです。また、掲載を希望されない方はお申し出下さい。本表から削除します。

九州工業大学会 責善会 自動車部OB会名簿(2016.11.6)

九州工業大学会 責善会 自動車部OB会名簿(2016.11.6)

学科	卒年	氏名	都道府県	都市	学科	卒年	氏名	都道府県	都市	学科	卒年	氏名	都道府県	都市	学科	卒年	氏名	都道府県	都市
	18	芳賀	石川県	金沢市		38	益田	奈良県	奈良市		46	新開	千葉県	佐倉市		52	松本	熊本県	熊本市
	18	馬場				38	宮原	神奈川県	横浜市		46	中野	神奈川県	藤沢市		52	的場		
	21	渡辺				39	小宮	福岡県	北九州市		46	野見	福岡県	福岡市		52	安永	福岡県	北九州市
	22	石飛	福岡県	福岡市		39	砂本	神奈川県	相模原市		46	樽原	兵庫県	加古川市		53	江頭	東京都	八王子市
	22	上妻	広島県	広島市		39	高宗				46	福永	埼玉県	日高市		53	政近	大分県	大分市
	22	田辺				39	田中	福岡県	京都府		46	細川	愛知県	日進市		53	三浦	福岡県	北九州市
	23	青木	福岡県	北九州市		39	常富	岡山県	倉敷市		46	山本	福岡県	中間市		53	八木	長崎県	南島原市
	23	大田	福岡県	遠賀郡		39	友永	大分県	別府市		46	山本	福岡県	京都府		55	網田	神奈川県	横浜市
	23	小林	福岡県	宗像市		39	中原	京都府	京都市		46	古河	兵庫県	姫路市		54	石野	神奈川県	相模原市
	23	坂本	大分県	宇佐市		39	浜田	神奈川県	鎌倉市		46	杉	茨城県	北茨城市		54	倉地		
	24	岩本	東京都	昭島市		39	松本	福岡県	北九州市		47	安部	和歌山県	岩出市		54	國栖	佐賀県	佐賀市
	24	森山	茨城県	日立市		39	三陽	山口県	宇部市		47	川越	愛知県	岡崎市		54	近藤	茨城県	高萩市
	25	島崎	東京都	練馬区		39	宮崎	茨城県	土浦市		47	鳥飼	滋賀県	大津市		54	坂田	三重県	四日市市
	25	白石	福岡県	福津市		39	吉武	大分県	大分市		47	森田	大阪府	八尾市		54	三宅	大阪府	堺市
	25	中野	愛知県	名古屋		39	米倉	神奈川県	相模原市		48	泡田	鳥取県	鳥取市		54	西原	福岡県	みやま市
	25	別所				40	梅山	東京都	府中市		48	井上	兵庫県	姫路市		54	西村	大阪府	和泉市
	25	松尾	福岡県	福岡市		40	木田	東京都	板橋区		48	大原	東京都	杉並区		54	早田	神奈川県	南足柄市
	26	塚田				40	橋本	兵庫県	神戸市		48	小泉	兵庫県	神戸市		54	橋本	千葉県	佐倉市
	26	塚田	福岡県	北九州市		40	六代	埼玉県	さいたま市		48	高見	福岡県	北九州市		54	舛重	宮崎県	延岡市
	28	島	東京都	板橋区		41	Rusta	Indonesia	Jakarta		48	長松	広島県	広島市		54	松岡	福岡県	北九州市
	28	山田	神奈川県	藤沢市		41	金児	山口県	宇部市		48	平野	広島県	東広島市		54	諸橋	大阪府	大阪市
	29	城	愛知県	小牧市		41	甲村	福岡県	福岡市		48	古本	広島県	広島市		54	山内		
	29	廣田	千葉県	千葉市		41	西岡	群馬県	高崎市		48	村上	神奈川県	川崎市		54	山下	佐賀県	三養基郡
	29	山田	千葉県	柏市		41	山田	大分県	調布市		49	河野	愛知県	豊田市		54	四辻	広島県	広島市
	30	中島	東京都	町田市		42	市丸	福岡県	福岡市		49	近藤				55	石田	兵庫県	川西市
	31	河相	千葉県	船橋市		42	尾崎	山口県	周南市		49	佐藤	千葉県	君津市		56	岩尾	広島県	廿日市市
	31	古場	神奈川県	横浜		42	片岡	東京都	調布市		49	時藤	大分県	大分市		56	太田	千葉県	佐倉市
	32	楠田	大分県	大分市		42	加藤	神奈川県	川崎市		49	刀薙	千葉県	市原市		56	太田	茨城県	つくば市
	32	安光	兵庫県	姫路市		42	谷口				49	堀川	山口県	岩国市		56	大原	広島県	東広島市
	33	池田	千葉県	流山市		42	芳賀	福岡県	北九州市		49	宮本	愛知県	岡崎市		56	島原	東京都	台東区
	33	嘉村	岡山県	岡山市		43	宇塚	広島県	広島市		49	山崎	兵庫県	宝塚市		56	幸徳	奈良県	五條市
	33	久保	大阪府	堺市		43	木庭	兵庫県	川西市		49	山崎	福岡県	北九州市		55	中村	福岡県	北九州市
	33	齋藤	鹿児島県	霧島市		43	進藤				50	浅野	神奈川県	横浜市		55	福川	神奈川県	小田原市
	33	松吉	神奈川県	横須賀市		43	高崎	千葉県	鎌倉市		50	牛島	福岡県	北九州市		55	洲上	千葉県	柏市
	34	塩谷				43	長澤	福岡県	福岡市		50	黒瀬	福岡県	千葉市		55	松元	千葉県	我孫子市
	34	白橋	東京都	小平市		43	中島	千葉県	千葉市		50	佐伯	神奈川県	横浜市		55	光成	広島県	福山市
	34	雷田				43	森永	茨城県	笠間市		50	首藤	大分県	大分市		56	石松		
	35	信国	福岡県	中間市		43	山根	東京都	立川市		50	田中	長崎県	長崎市		56	須藤	大分県	由布市
	35	進藤	東京都	東村山市		43	山本	神奈川県	横浜市		50	鳥越	宮崎県	宮崎市		56	高須		
	35	山口	熊本県	熊本市		44	伊東	大分県	大分市		50	中西	滋賀県	大津市		56	徳永		
	36	飯田	福岡県	福岡市		44	井上		Monterey Park		50	西村	愛知県	稲沢市		56	平田	福岡県	北九州市
	36	香月	埼玉県	蓮田市		44	大本	千葉県	船橋市		50	晴田	岡山県	岡山市		56	藤本	広島県	福山市
	36	木村	千葉県	佐倉市		44	小笠	東京都	大田区		50	畑中	愛知県	豊橋市		56	武藤	福岡県	八女市
	36	佐伯	千葉県	流山市		44	掛水				50	溝尻	愛知県	岡崎市		57	石井	埼玉県	越谷市
	36	谷岡				44	熊本	佐賀県	唐津市		50	吉川	長崎県	西彼杵郡		57	大島	福岡県	福岡市
	36	久富	広島県	広島市		44	鶴長				51	白倉	富山県	射水市		57	大野		
	37	小野	福岡県	福岡市		44	藤田	福岡県	北九州市		51	武地	神奈川県	横浜市		57	尾辻	宮城県	仙台市
	37	木島	神奈川県	相模原市		44	松原	静岡県	富士市		51	本吉	神奈川県	海老名市		57	小野		
	37	木村	神奈川県	綾瀬市		44	渡辺				52	坂井	埼玉県	入間郡		57	川村	愛知県	岡崎市
	37	門司	東京都	国分寺市		45	釘宮	愛知県	豊田市		52	石田	三重県	四日市市		57	白水	佐賀県	鳥栖市
	37	山田	三重県	津市		45	坂本	福岡県	八女市		52	坂井	埼玉県	鶴ヶ島市		57	中村	福岡県	北九州市
	38	大塚	大阪府	豊中市		45	柴田	福岡県	北九州市		52	嶋田	長崎県	佐世保市		57	畠中	福岡県	北九州市
	38	栗本	神奈川県	横浜		45	田中	兵庫県	神戸市		52	永田	愛知県	岡崎市		57	山口	東京都	西多摩郡
	38	高橋	愛知県	名古屋		45	八木	山口県	周南市		52	中野	福岡県	北九州市		58	浦田	神奈川県	横浜
	38	花田	福岡県	北九州市		46	鞍馬	山口県	宇部市		52	野瀬				58	片岡	熊本県	熊本市
	38	藤本				46	佐藤	東京都	武蔵野市		52	房前	千葉県	市川市		58	島村	静岡県	御前崎市

学科	卒年	氏名	都道府県	都市	学科	卒年	氏名	都道府県	都市	学科	卒年	氏名	都道府県	都市	学科	卒年	氏名	都道府県	都市
	58	永井	富崎県	富崎市	H3	林	岡山県	倉敷市		H19	藤川			17	豊田	熊本県	八代市		
	58	廣田	大阪府	岸和田市	H3	福田	福岡県	京都郡		H20	安部			19	山本				
	58	前田	福岡県	福岡市	H4	内野	愛知県			H20	国吉			21	喜多				
	58	三原	静岡県	静岡市	H4	公山	USA	Wilson		H20	倉本			21	古江				
	58	森	福岡県	福岡市	H4	白石				H20	平塚			21	今井				
	59	大井	徳島県	徳島市	H4	宗雲				H24中退	朝長	長崎県	佐世保市	22	伊東				
	59	小川	福岡県	北九州市	H4	谷尾				H24中退	石原	福岡県	北九州市	22	越出				
	59	近藤	愛媛県	今治市	H4	山下	熊本県	宇土市		H21	桑原			22	立松	兵庫県	芦屋市		
	58	高橋	大分県	大分市	H4	山根				H21	花本			23	久保				
	59	津曲	東京都	狛江市	H4	山本	福岡県	太宰府市		H21	原島	福岡県	北九州市	23	三重				
	59	友田	福岡県	北九州市	H4	吉住	愛知県	西加茂郡		H22	北垣	福岡県	北九州市	23	大野	福岡県	北九州市		
	59	長木	広島県	三原市	H5	家守	岡山県	倉敷市		H23	香川	栃木県	宇都宮市	23	田中				
	59	長沼	大分県	大分市	H5	紙谷				H23	山端	郡		24	高野				
	59	那形	福岡県	中間市	H5	松尾	愛知県	岡崎市		H17中退	大庭	福岡県	北九州市	24	真那				
	59	裨田	熊本県	菊池郡	H5	山口				H23	岩本	福岡県		24	赤松				
	59	平瀬			H6	川口				H25	飯田	大阪府	吹田市	25	溝口				
	60	井上	福岡県	甘木市	H7	桂	福岡県	北九州市		H25	西立	福岡県	福岡市	25	海井				
	60	小林			H7	原田				H25	渡辺			25	澤井				
	61	石井			H8	岡				H26	村田	福岡県	筑後市	26	後藤	福岡県	福岡市		
	61	一瀬	長崎県		H8	小西				H26	原			26	川崎	福岡県	福岡市		
	61	中村	山口県	光市	H8	中沢				H28中退	八尋	福岡県	朝倉郡	28	渡辺				
	61	福島	愛知県	豊田市	H8	渡邊	大分県	大分市		現役	漆原	福岡県	北九州市	29	吉田				
	62	小瀧	長崎県	長崎市	H9	小野	福岡県	太宰府市		現役	坂元	福岡県	北九州市	32	笠原	神奈川県	相模原		
	62	近藤	東京都	町田市	H9	篠崎	福岡県	福岡市						32	松吉				
	62	貞形	愛知県	刈谷市	H9	鈴木	愛媛県							32	川崎				
	62	三角	福岡県	宗像市	H9	宮城	沖縄県	島尻郡						33	小堀	茨城県	水戸市		
	62	生越	福岡県	久留米市	H9	森若	福岡県	京都郡						33	中村	埼玉県	春日部市		
	62	三好	兵庫県	西宮市	H9	山本	大分県	東国東郡						33	林田	千葉県	千葉市		
	62	諸岡			H9	渡邊								36	渡辺				
	62	山田	福岡県	太宰府市	H10	小早	山口県	周南市						37	倉益	神奈川県	三浦郡		
	62	山本	福岡県	飯塚市	H10	高橋	山口県	周南市						38	森光				
	63	小川	愛知県	名古屋	H10	遠山	福岡県	北九州市						39	横田	栃木県	入間市		
	63	柿本	京都府	八幡市	H11	井手	福岡県	福岡市						40	大庭	福岡県	北九州市		
	63	御前	愛知県	安城市	H11	中村								42	浜本				
	63	坂口	神奈川県	川崎市	H11	藤井								43	伊藤				
	63	坂田	神奈川県	川崎市	H12	岩本	福岡県	京都郡						48	浜田				
	63	高以			H12	中本	山口県	下関市						51	高橋				
	63	石富	兵庫県	神戸市	H13	賀村								53	潮崎	神奈川県	平塚市		
	63	真島	佐賀県	佐賀郡	H13	山本	神奈川県	横浜市						56	府内	兵庫県	神戸市		
	H1	河野	神奈川県	横浜市	H13	渡邊	長崎県							57	寺田				
	H1	木戸			H14	柴田	福岡県	遠賀郡						23	舛谷	大阪府	豊中市		
	H1	黒田	福岡県	行橋市	H14	安部								23	紀田	大分県	杵築市		
	H1	谷口	千葉県	千葉市	H14	松本	栃木県	宇都宮市						47	濱田				
	H1	鎌田	群馬県	太田市	H14	森	岡山県	総社市						33	古屋	神奈川県	相模原市		
	H1	永洲	神奈川県	相模原市	H14	渡辺								30	渡邊	東京都	江東区		
	H1	藤嶋	京都府	京都市	H16	安部	茨城県	ひたちなか市											
	H1	古寺	大分県	北米	H15	石塚													
	H1	元木	広島県	広島市	H15	村井	埼玉県	川越市											
	H1	山下	福岡県	北九州市	H17	犬丸	福岡県	福岡市											
	H2	今泉	福岡県	糟屋郡	H17	西本													
	H2	高安			H17	西野	愛知県												
	H2	藤井	広島県	広島市	H17	田口													
	H2	山崎	福岡県		H18	延原													
	H2	渡辺	愛知県	豊田市	H18	石丸	福岡県	北九州市											
	H3	須賀	福岡県		H19	徳永													
	H3	竹下	福岡県	北九州市	H19	泥谷													

【編集後記】

今年も大規模災害がありました。特に、熊本地震は九州という我々の身近で起きた事で、関係者にも被害にあわれた方がおられ、心を痛めました。一刻も早い復旧と安全・安心な生活を取り戻せるよう祈念しています。また、年末になり急に高齢者による運転事故が多く報道されるようになりました。他人事でなく一層の安全運転を心がけています。(武)

発行日 平成 28 年 12 月 20 日
 発行者 九州工業大学責善会自動車部
 主将 靄
 明専・九州工大自動車部 OB 会
 会長 木村
 編集者 武地(s51)

明専・九州工業大学自動車部 OB 会
九州工業大学責善会自動車部